

# 高齢者バス I Cカード利用者に関する調査報告書

平成 28 年 11 月

芦屋市福祉部高齢介護課

## 目次

I. 分析の概要	2
1. 分析の目的	2
2. 調査方法	2
3. 分析項目 [全市の合計]	2
II. 結果の概要	3
1. 利用者の基本属性	3
2. 利用の傾向	3
3. バス停別の利用状況	3
4. 地域別の利用状況	3
III. 調査の詳細	4
1. 利用者の基本属性	4
1) 利用者の年齢	4
2) 利用者の性別	6
3) 性別と年齢割合	6
2. 利用の傾向	7
1) 月別の利用件数・利用者数	7
2) 1人あたりの利用回数, 年間・月間利用者	8
3) 曜日・降車時間帯別の利用の傾向	9
3. バス停別の利用状況	12
1) 乗車バス停	12
2) 降車バス停	13
4. 地域別の利用状況	14
1) 生活圏域別利用者	14
2) 小学校区別利用者	15
3) 町別利用者	16
IV. 資料	18

## I. 分析の概要

### 1. 分析の目的

平成 26 年度から 70 歳以上の高齢者に対して、「高齢者バス運賃助成事業」に IC カードを導入し、この制度を利用して市内を運行する阪急バスを利用された方の情報がデータにより把握することができるようになった。このデータを用いて制度がどのように利用されているかを把握することにより、今後増加し続ける高齢者の社会参加の促進に向けたあり方を考察するため分析を行った。

### 2. 調査方法

平成 27 年 1 月～平成 27 年 12 月まで（1 年間）の利用者のデータを集計した。

### 3. 分析項目 [全市の合計]

①70 歳以上人口（平成 27 年 12 月末現在）

18,531 人

②実利用人数

8,829 人

③利用回数

666,884 回

④利用割合（実利用人数／70 歳以上人口）

47.6%

調査結果の図表は、原則として回答者の構成比（百分率）で表現している。

## Ⅱ．結果の概要

平成 27 年の 1 年間の高齢者バス運賃助成事業による利用者の集計作業で分かったことは、以下のとおりである。

### 1．利用者の基本属性

若い年齢のほうが利用人数は多く、1 番利用しているのは、70～74 歳である。

### 2．利用の傾向

利用人数は、月別にあまり変化はないが、利用回数では、利用の少ない 3 月に対して多い 10 月では、約 1.5 倍利用されている。年間において、12 回以下の利用頻度の少ない利用者が全体の 28.2%を占めている。曜日による変化は、あまりない。

### 3．バス停別の利用状況

乗車降車バス停では、JR 芦屋、阪急芦屋川、阪神芦屋の 3 バス停の利用が多いが、1 人あたり利用回数では、若葉町、潮芦屋中央、シーサイドセンターなどのバス停で、多くの利用者がある。

### 4．地域別の利用状況

生活圏域別にみると市南部の潮見圏域での利用率が高く、精道圏域での利用率が低い。

以上により、サービスが開始して 2 年が経過したところであるが、利用者の居住地による偏りがみられる。潮見圏域ではよく利用されているが、精道圏域ではあまり利用されていない地域がある。

今後、多くの方が利用できるよう運賃助成のあり方を検討していく必要がある。

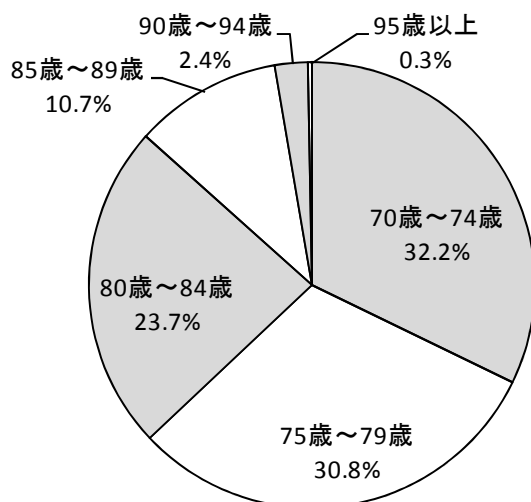
### Ⅲ. 調査の詳細

#### 1. 利用者の基本属性

##### 1) 利用者の年齢

利用者の年齢区分別割合をみると、70～74歳までが32.2%で最も多く、75～79歳が次に多くなっている。80～84歳も23.7%と一定の割合利用がみられる。一方85歳～89歳では10.7%、それ以上では3%に満たない。

利用者の年齢区分別割合



また、詳細な年齢別で見ると、70歳から80歳までは、500人～650人の利用で、80歳以上では、年齢が増すに従い減少していることがわかる。90歳代になると利用者は100人未満となる。

最後に、人口に対する利用割合では、全体では47.6%だが、5歳刻みで見ると、75歳から79歳が57.1%で最も高く、次に80歳から84歳の52.3%、その次に70歳から74歳の48.7%となっている。95歳から99歳まででは7.0%と低くなっている。

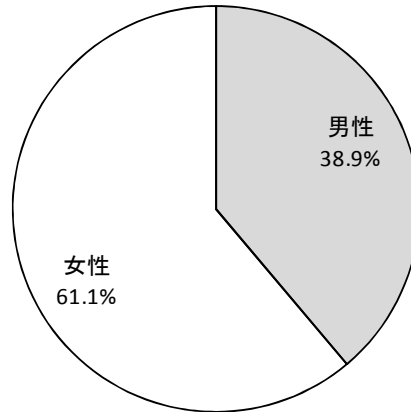
年齢	年齢別人口	利用人数	年齢別構成比		人口に対する割合	
70歳	990	353	2,842	4.0%	32.2%	35.7%
71歳	1,206	606		6.9%		50.2%
72歳	1,193	600		6.8%		50.3%
73歳	1,217	634		7.2%		52.1%
74歳	1,226	649		7.4%		52.9%
75歳	1,017	568	2,717	6.4%	30.8%	55.9%
76歳	977	548		6.2%		56.1%
77歳	851	492		5.6%		57.8%
78歳	989	566		6.4%		57.2%
79歳	928	543		6.2%		58.5%
80歳	938	548	2,089	6.2%	23.7%	58.4%
81歳	803	426		4.8%		53.1%
82歳	785	407		4.6%		51.8%
83歳	769	372		4.2%		48.4%
84歳	697	336		3.8%		48.2%
85歳	623	275	944	3.1%	10.7%	44.1%
86歳	541	221		2.5%		40.9%
87歳	511	183		2.1%		35.8%
88歳	427	150		1.7%		35.1%
89歳	387	115		1.3%		29.7%
90歳	322	78	211	0.9%	2.4%	24.2%
91歳	247	49		0.6%		19.8%
92歳	208	35		0.4%		16.8%
93歳	174	29		0.3%		16.7%
94歳	136	20		0.2%		14.7%
95歳	108	18	26	0.2%	0.3%	16.7%
96歳	83	3		0.0%		3.6%
97歳	51	2		0.0%		3.9%
98歳	38	2		0.0%		5.3%
99歳	34	1		0.0%		2.9%
100歳以上	55	0		0.0%		0.0%
合計	18,531	8,829		100.0%		47.6%

## 2) 利用者の性別

性別で見ると、男性約4割に対して、女性は約6割である。

利用者の性別割合

	利用人数	
	人数	割合
男性	3,431	38.9%
女性	5,398	61.1%
合計	8,829	100.0%



## 3) 性別と年齢割合

性別と年齢でのクロス集計では、女性の70～74歳が最も多く、女性75～79歳、女性80～84歳、男性70～74歳、男性75～79歳と続く。

割合で見ると、女性70～74歳と女性75～79歳が全体の約4割を占めていることがわかる。(39.4%)

		男性	女性	合計
利用人数	70～74歳	1,066	1,776	2,842
	75～79歳	1,016	1,701	2,717
	80～84歳	868	1,221	2,089
	85～89歳	394	550	944
	90～94歳	78	133	211
	95～99歳	9	17	26
	合計	3,431	5,398	8,829
割合	70～74歳	12.1%	20.1%	32.2%
	75～79歳	11.5%	19.3%	30.8%
	80～84歳	9.8%	13.8%	23.7%
	85～89歳	4.5%	6.2%	10.7%
	90～94歳	0.9%	1.5%	2.4%
	95～99歳	0.1%	0.2%	0.3%
	合計	38.9%	61.1%	100.0%

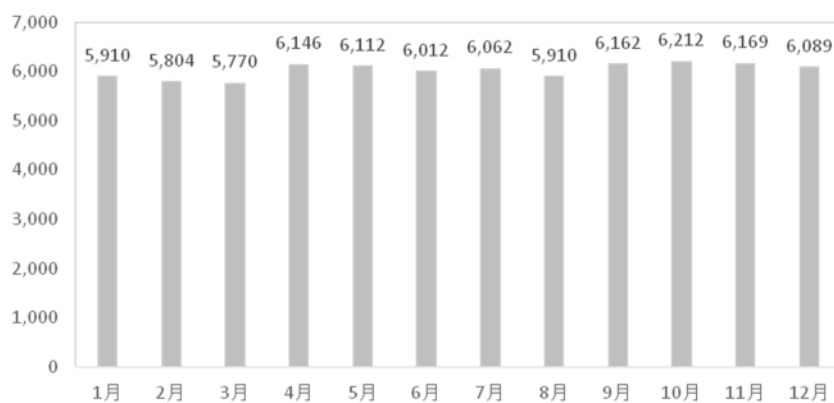
## 2. 利用の傾向

### 1) 月別の利用件数・利用者数

1年間で、月による利用人数の増減に大きな差はないが、利用回数で見ると、最も多い10月は、最も少ない3月の1.5倍の利用回数となっている。

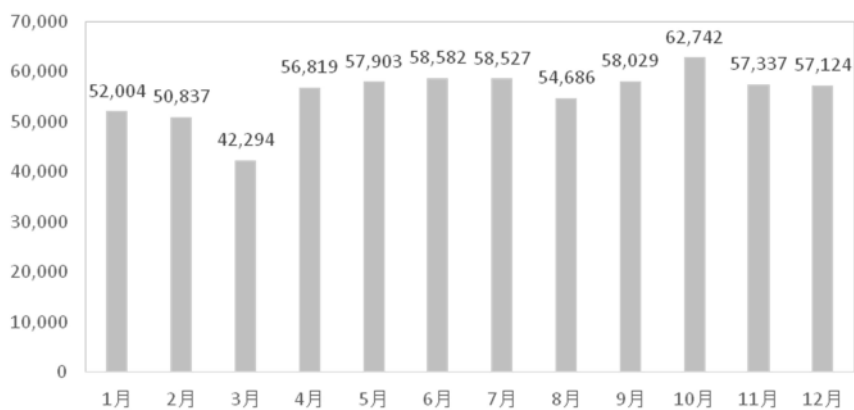
#### ・ 月別利用人数

月	利用人数
1月	5,910
2月	5,804
3月	5,770
4月	6,146
5月	6,112
6月	6,012
7月	6,062
8月	5,910
9月	6,162
10月	6,212
11月	6,169
12月	6,089



#### ・ 月別利用回数

月	利用回数
1月	52,004
2月	50,837
3月	42,294
4月	56,819
5月	57,903
6月	58,582
7月	58,527
8月	54,686
9月	58,029
10月	62,742
11月	57,337
12月	57,124
合計	666,884





2) 1人あたりの利用回数, 年間・月間利用者

年間の利用回数を, 通常往復での利用を基本とし, 12回以下(2か月に1回程度の利用), 13~24回(月1回程度), 25~48回(月2回程度), 59~144回(週1回程度), 145~288回(週2回程度), 289~432回(週3回程度), 433回以上(週3回より多い)とに分類・集計すると年間12回以下(2か月に1回程度以下)の利用者が全体の28.2%と全体の1/4以上を占めており, 利用頻度の低い利用者が多数を占めていることがわかる。また, 週3回より多い利用者が, 85人(1.0%)もいることがわかる。

・ 1人あたりの利用回数

年間 利用回数	参考	利用人数	割合
12回以下	2か月1回以下	2,489	28.2%
13~24回	月1回程度	1,102	12.5%
25~48回	月2回程度	1,304	14.8%
49~144回	週1回程度	2,397	27.1%
145~288回	週2回程度	1,169	13.2%
289~432回	週3回程度	283	3.2%
433回以上	週3回より多	85	1.0%
合計		8,829	100.0%

・ 年間の利用回数の多い利用者(回数別)

順	利用回数	1日当たり 利用回数
1	753	2.1
2	740	2.0
3	670	1.8
4	635	1.7
5	612	1.7
6	610	1.7
7	608	1.7
8	605	1.7
9	602	1.6
10	593	1.6

年間の利用回数が多い利用者の上位10名のうち, 最大利用回数は753回で, 平均すると1日あたり2回以上利用していることがわかる。

・年間の利用回数の多い利用者（利用者・利用月別）

順	利用者	利用月	利用回数	1日当たり 利用回数
1	A	11	96	3.2
2	B	10	93	3.0
3	C	6	86	2.9
4	C	9	82	2.7
4	D	8	82	2.6
6	C	7	80	2.6
6	E	9	80	2.7
8	C	5	79	2.5
8	D	10	79	2.5
10	C	8	78	2.5
10	D	7	78	2.5

1 か月単位での利用回数の多い利用者の利用月，利用回数は上の通りであり，利用者の記号が同一の利用者は同一人物であることを示す。

これから，利用回数 90 回以上，1 日あたり 3 回以上の利用者もいるということで，自宅から目的地への往復のみでなく，自宅－目的地①－目的地②－自宅のように，複数に立ち寄った後に，帰宅する利用者や目的地に行くまでに乗り継いで行っている利用者が，一定程度含まれている可能性を示している。

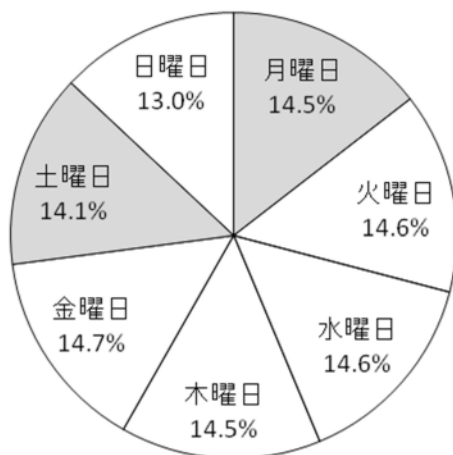
3) 曜日・降車時間帯別の利用の傾向

曜日別では，利用人数では曜日により，大きな変化が見られない。最大人数が金曜日で 7,017 人（14.7%），最小人数が日曜日 6,190 人（13.0%）となっている。利用回数で見ると，金曜日が 111,979 回（16.8%）で多く，日曜日が 67,760 回（10.2%）で少ない。

また，1 人あたり利用回数で見ても，金曜日が 16.0 回で多く，日曜日が 10.9 回で少ない。

	利用人数		利用回数		1人あたり 利用回数
	人数	割合	回数	割合	
月曜日	6,913	14.5%	99,818	15.0%	14.4
火曜日	6,946	14.6%	100,536	15.1%	14.5
水曜日	6,974	14.6%	102,215	15.3%	14.7
木曜日	6,918	14.5%	98,299	14.7%	14.2
金曜日	7,017	14.7%	111,979	16.8%	16.0
土曜日	6,697	14.1%	86,277	12.9%	12.9
日曜日	6,199	13.0%	67,760	10.2%	10.9
合計	47,664	100.0%	666,884	100.0%	14.0

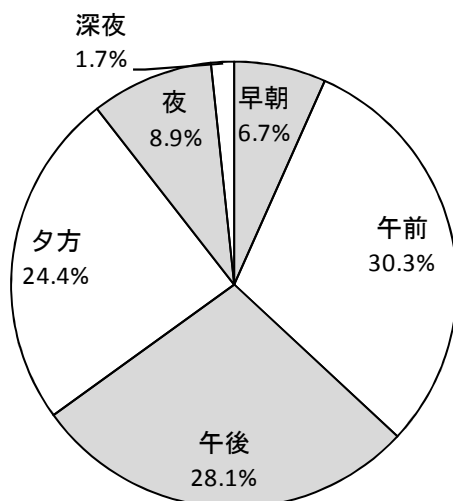
### 曜日別利用人数割合



降車時間帯別で見ると午前が 30.3% (201,845 回) と高く、次に午後 28.1% (187,460 回)、夕方 24.4% (162,847 回) となっている。ただし、21 時以降も年間 1 万回近い利用があることもわかる。

時間帯	利用回数	割合
早朝(5時から9時まで)	44,425	6.7%
午前(9時から12時まで)	201,845	30.3%
午後(12時から15時まで)	187,460	28.1%
夕方(15時から18時まで)	162,847	24.4%
夜(18時から21時まで)	59,183	8.9%
深夜(21時以降)	11,124	1.7%
合計	666,884	100.0%

### 降車時間帯別利用人数割合



曜日・降車時間帯別のクロス集計

		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
利用 人数	早朝(5時から9時まで)	1,860	1,990	2,046	1,955	2,025	1,652	1,376
	午前(9時から12時まで)	5,105	5,135	5,218	5,072	5,175	4,799	4,118
	午後(12時から15時まで)	5,162	5,154	5,202	5,171	5,337	5,011	4,397
	夕方(15時から18時まで)	4,716	4,761	4,784	4,651	4,929	4,573	4,206
	夜(18時から21時まで)	2,388	2,401	2,403	2,352	2,570	2,602	2,340
	深夜(21時以降)	573	642	686	716	788	808	532
割合	早朝(5時から9時まで)	34.9%	37.3%	38.3%	36.6%	37.9%	31.0%	25.8%
	午前(9時から12時まで)	95.7%	96.2%	97.8%	95.0%	97.0%	89.9%	77.2%
	午後(12時から15時まで)	96.7%	96.6%	97.5%	96.9%	100.0%	93.9%	82.4%
	夕方(15時から18時まで)	88.4%	89.2%	89.6%	87.1%	92.4%	85.7%	78.8%
	夜(18時から21時まで)	44.7%	45.0%	45.0%	44.1%	48.2%	48.8%	43.8%
	深夜(21時以降)	10.7%	12.0%	12.9%	13.4%	14.8%	15.1%	10.0%

割合は、利用人数最大（金曜日午後：5,337人）に対する割合

曜日・降車時間帯別利用割合を見ると、金曜日の午後（12時から15時まで）が最も多いが、午前（9時から12時まで）及び午後の月曜日から金曜日までがまんべんなく利用されている。土曜日で約9割、日曜日では、8割弱となる。

また、早朝（5時から9時まで）、夜（18時から21時まで）では、土曜日・日曜日においても、利用人数に大きな差がないことがわかる。

### 3. バス停別の利用状況

#### 1) 乗車バス停

乗車バス停別の利用人数で見ると、JR芦屋（13.0%、6,981人）、阪急芦屋川（9.2%、4,913人）、阪神芦屋（9.1%、4,880人）がそれ以下を大きく引き離して、非常に多いことがわかる。

また、乗車バス停別の乗車回数でみると同じく上位の3つの停留所が多い。乗車回数を利用人数で割った1人あたり利用回数は、JR芦屋が27.3回で非常に高いが、他の停留所では若葉町も高くなっているところが目を引く。

順	乗車停留所名	利用人数		乗車回数		1人あたり 利用回数
		人数	割合	回数	割合	
1	JR芦屋	6,981	13.0%	190,500	28.6%	27.3
2	阪急芦屋川	4,913	9.2%	41,986	6.3%	8.5
3	阪神芦屋	4,880	9.1%	69,197	10.4%	14.2
4	芦屋浜営業所前	2,976	5.5%	13,692	2.1%	4.6
5	新浜町	1,978	3.7%	4,822	0.7%	2.4
6	芦屋病院前	1,914	3.6%	10,304	1.5%	5.4
7	シーサイドセンター	1,804	3.4%	29,815	4.5%	16.5
8	JR芦屋南口	1,654	3.1%	18,866	2.8%	11.4
9	水道橋	1,528	2.8%	18,056	2.7%	11.8
10	業平橋	1,407	2.6%	6,248	0.9%	4.4
11	大東町	1,381	2.6%	8,430	1.3%	6.1
12	大正橋	1,157	2.2%	2,366	0.4%	2.0
13	浜風大橋南	1,106	2.1%	9,763	1.5%	8.8
14	潮芦屋中央	998	1.9%	19,695	3.0%	19.7
15	阪急夙川	983	1.8%	2,545	0.4%	2.6
16	岸の郷橋	973	1.8%	8,288	1.2%	8.5
17	若葉町	914	1.7%	23,540	3.5%	25.8
18	呉川町	797	1.5%	9,653	1.4%	12.1
19	上宮川橋	795	1.5%	3,212	0.5%	4.0
20	宮川小学校前	767	1.4%	6,779	1.0%	8.8

## 2) 降車バス停

降車バス停別の利用人数で見ると、乗車同様に、JR芦屋（13.8%、7,148人）、阪神芦屋が（9.8%、5,048人）、阪急芦屋川（9.1%、4,691人）が非常に多いことがわかる。

降車回数でも、上位の3つの停留所で全体の39.7%と約4割の利用者が利用しているバス停であることがわかる。

また、1人あたり利用回数では、若葉町（25.5回）、潮芦屋中央（21.7回）、JR芦屋（20.8回）が多い。

順	降車停留所名	利用人数		降車回数		1人あたり 利用回数
		人数	割合	降車回数	割合	
1	JR芦屋	7,148	13.8%	148,994	22.3%	20.8
2	阪神芦屋	5,048	9.8%	71,104	10.7%	14.1
3	阪急芦屋川	4,691	9.1%	44,683	6.7%	9.5
4	JR芦屋南口	3,053	5.9%	27,457	4.1%	9.0
5	業平橋	2,104	4.1%	14,019	2.1%	6.7
6	大正橋	2,092	4.1%	10,583	1.6%	5.1
7	シーサイドセンター	1,884	3.7%	33,171	5.0%	17.6
8	芦屋病院前	1,825	3.5%	11,344	1.7%	6.2
9	水道橋	1,371	2.7%	12,287	1.8%	9.0
10	芦屋浜営業所前	989	1.9%	8,266	1.2%	8.4
11	潮芦屋中央	956	1.9%	20,760	3.1%	21.7
12	若葉町	941	1.8%	23,978	3.6%	25.5
13	高浜町	887	1.7%	12,473	1.9%	14.1
14	上宮川橋	868	1.7%	3,514	0.5%	4.0
15	岩園橋	784	1.5%	5,097	0.8%	6.5
16	岸の郷橋	770	1.5%	6,158	0.9%	8.0
17	阪神打出	707	1.4%	6,160	0.9%	8.7
18	中央公園前	699	1.4%	4,327	0.6%	6.2
19	緑町(美術博物館前)	680	1.3%	10,023	1.5%	14.7
20	シーサイド西口	665	1.3%	8,205	1.2%	12.3

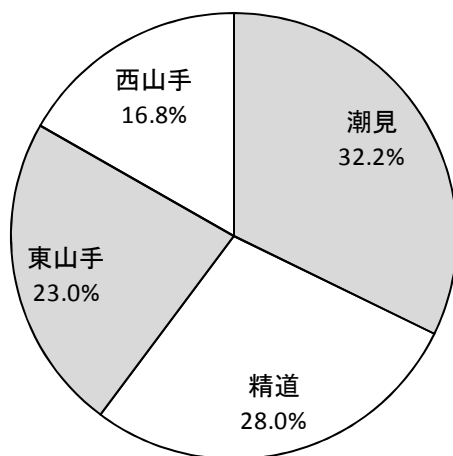
#### 4. 地域別の利用状況

##### 1) 生活圏域別利用者

生活圏域別利用人数では、潮見圏域が2,845人と最も多く、次いで、精道圏域、東山手圏域となっている。ただし利用回数では、最も多いのは潮見圏域であるが、次は、東山手圏域である。1人あたり利用回数では、潮見圏域の100.5回が非常に多く、次に東山手圏域の89.2回、その他の圏域は、50回前後である。

生活圏域	人数	回数	割合	1人あたり 利用回数
東山手	2,033	181,315	23.0%	89.2
西山手	1,479	78,773	16.8%	53.3
精道	2,472	120,834	28.0%	48.9
潮見	2,845	285,962	32.2%	100.5
合計	8,829	666,884	100.0%	75.5

生活圏域別利用者割合（利用割合の高い順）



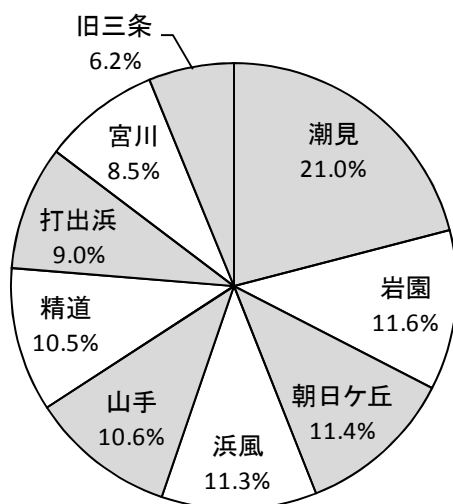
## 2) 小学校区別利用者

小学校区別利用人数は、潮見小学校区は1,851人と最も多く全体の20%超を占めている。続いて、岩園小学校区、朝日ヶ丘小学校区、浜風小学校区で3地区とも1,000人前後の利用人数があり、割合でもおよそ11%である。

また、1人あたり利用回数で見ると浜風小学校区が107.6回、朝日ヶ丘小学校区が107.0回と高く、精道中学校区の打出浜小学校区と宮川小学校区が他の校区と比較して低い。

中学校区	小学校区	人数	回数	割合	1人あたり 利用回数
東山手	岩園	1,024	73,316	11.6%	71.6
	朝日ヶ丘	1,009	107,999	11.4%	107.0
西山手	山手	934	49,371	10.6%	52.9
	旧三条	545	29,402	6.2%	53.9
精道	精道	924	46,789	10.5%	50.6
	打出浜	796	38,003	9.0%	47.7
	宮川	752	36,042	8.5%	47.9
潮見	潮見	1,851	178,968	21.0%	96.7
	浜風	994	106,994	11.3%	107.6
合計		8,829	666,884	100.0%	75.5

小学校区別利用者割合





### 3) 町別利用者

#### 町別利用者の一覧（利用割合の高い順）

順	町名	生活圏域	70歳以上人口	利用人数	回数	割合	利用割合	1人あたり利用回数
1	緑町	潮見	476	363	40,981	4.1%	76.3%	112.9
2	新浜町	潮見	202	149	13,098	1.7%	73.8%	87.9
3	浜風町	潮見	342	252	26,039	2.9%	73.7%	103.3
4	若葉町	潮見	647	475	47,058	5.4%	73.4%	99.1
5	高浜町	潮見	822	593	67,857	6.7%	72.1%	114.4
6	奥山	西山手	72	48	4,796	0.5%	66.7%	99.9
7	潮見町	潮見	389	251	25,631	2.8%	64.5%	102.1
8	陽光町	潮見	716	449	48,929	5.1%	62.7%	109.0
9	朝日ヶ丘町	東山手	1,274	797	93,264	9.0%	62.6%	117.0
10	岩園町	東山手	641	386	41,146	4.4%	60.2%	106.6
11	南浜町	潮見	74	44	3,343	0.5%	59.5%	76.0
12	松浜町	精道	312	180	13,160	2.0%	57.7%	73.1
13	海洋町	潮見	468	258	11,892	2.9%	55.1%	46.1
14	平田北町	精道	102	56	2,160	0.6%	54.9%	38.6
15	月若町	西山手	129	69	4,804	0.8%	53.5%	69.6
16	呉川町	精道	428	228	14,719	2.6%	53.3%	64.6
17	平田町	精道	221	117	8,982	1.3%	52.9%	76.8
18	西山町	西山手	275	140	10,459	1.6%	50.9%	74.7
19	伊勢町	精道	326	165	8,441	1.9%	50.6%	51.2
20	南宮町	精道	525	263	12,328	3.0%	50.1%	46.9
21	大東町	精道	727	348	17,540	3.9%	47.9%	50.4
22	浜芦屋町	精道	189	90	3,963	1.0%	47.6%	44.0
23	奥池南町	西山手	230	109	5,340	1.2%	47.4%	49.0
24	涼風町	潮見	24	11	1,134	0.1%	45.8%	103.1
25	山芦屋町	西山手	231	103	5,935	1.2%	44.6%	57.6
26	浜町	精道	431	191	8,888	2.2%	44.3%	46.5
27	西芦屋町	西山手	108	46	2,129	0.5%	42.6%	46.3
28	奥池町	西山手	126	53	3,365	0.6%	42.1%	63.5
29	親王塚町	東山手	302	123	4,175	1.4%	40.7%	33.9
30	山手町	西山手	361	145	10,785	1.6%	40.2%	74.4
31	東山町	東山手	531	212	14,735	2.4%	39.9%	69.5
32	東芦屋町	西山手	401	154	12,133	1.7%	38.4%	78.8
33	船戸町	西山手	210	80	2,061	0.9%	38.1%	25.8
34	翠ヶ丘町	東山手	827	310	19,861	3.5%	37.5%	64.1
35	春日町	精道	452	169	7,929	1.9%	37.4%	46.9
36	精道町	精道	173	62	2,116	0.7%	35.8%	34.1
37	竹園町	精道	163	58	1,839	0.7%	35.6%	31.7
38	松ノ内町	西山手	238	82	2,470	0.9%	34.5%	30.1
39	西蔵町	精道	440	150	6,223	1.7%	34.1%	41.5
40	六麓荘町	東山手	162	55	4,573	0.6%	34.0%	83.1
41	川西町	精道	226	73	2,827	0.8%	32.3%	38.7
42	大原町	西山手	580	187	6,452	2.1%	32.2%	34.5
43	公光町	精道	105	33	982	0.4%	31.4%	29.8
44	清水町	西山手	91	26	1,001	0.3%	28.6%	38.5
45	打出小槌町	精道	274	78	3,541	0.9%	28.5%	45.4
46	三条町	西山手	315	89	3,035	1.0%	28.3%	34.1
47	楠町	東山手	540	150	3,561	1.7%	27.8%	23.7
48	上宮川町	西山手	113	28	958	0.3%	24.8%	34.2
49	三条南町	西山手	181	43	1,391	0.5%	23.8%	32.3
50	打出町	精道	68	16	206	0.2%	23.5%	12.9
51	前田町	西山手	124	29	648	0.3%	23.4%	22.3
52	業平町	西山手	212	48	1,011	0.5%	22.6%	21.1
53	津知町	精道	175	39	917	0.4%	22.3%	23.5
54	宮川町	精道	114	25	326	0.3%	21.9%	13.0
55	宮塚町	精道	217	46	1,054	0.5%	21.2%	22.9
56	若宮町	精道	169	34	1,291	0.4%	20.1%	38.0
57	茶屋之町	精道	167	33	666	0.4%	19.8%	20.2
58	大榎町	精道	93	18	736	0.2%	19.4%	40.9
59	鋸谷	西山手	0	0	0	0.0%	---	---
	合計		18,531	8,829	666,884	100.0%	47.6%	75.5

居住している町別に 70 歳以上人口，利用人数，利用回数，割合（利用人数の構成比），利用割合（利用人数/70 歳以上人口），1 人あたり利用回数を集計し，利用割合の降順に並べた。

そこで，利用割合の高い順でみると，緑町が高く 76.3%で，平均すると 70 歳以上の 4 人のうち 3 人が利用しているといえる。また，ほかにも 70%を超える地域は，新浜町・浜風町・若葉町・高浜町の潮見圏域の町で非常に高いことがわかる。

逆に利用割合が低い地域は，大榭町・茶屋之町・若宮町・宮塚町・宮川町などであり，それぞれ 20%前後と低いことがわかる。これらの地域は，すべて精道圏域で，駅や商店街に近い生活利便地域であることがわかる。

また，1 人あたり利用回数が多い町は，朝日ヶ丘町 117.0 回，高浜町 114.4 回，緑町 112.9 回，陽光町 109.0 回，岩園町 106.6 回で，逆に少ない町は，打出町 12.9 回，宮川 13.0 回，茶屋之町 20.2 回，業平町 21.1 回，前田町 22.3 回などとなっている。

## IV. 資料

### ○芦屋市高齢者バス運賃助成事業実施要綱

注 平成16年4月1日から条文注記入る。

改正 平成4年4月1日

平成15年4月1日

平成16年4月1日

平成20年4月1日

平成24年7月9日

平成26年4月1日

(趣旨)

第1条 この要綱は、高齢者の地域における活動、老人クラブ活動、スポーツ、趣味及び文化活動等の社会参加の機会をさらに促進するため、阪急バス利用者に対する運賃助成事業（以下「事業」という。）を実施することについて必要な事項を定めるものとする。

(実施主体)

第2条 この事業は、芦屋市が阪急バス株式会社の協力を得て行う。

(平20.4.1・一部改正)

(対象者)

第3条 この事業によりバス運賃の助成を受けることができる者（以下「対象者」という。）は、市内に居住する70歳以上の者で、住民基本台帳法（昭和42年法律第81号）に基づき、本市の住民基本台帳に記録されている者その他市長が特に必要と認める者とする。

(平24.7.9・全改)

(運賃の助成)

第4条 運賃の助成は、阪急バスが市内において発着する運転系統の全区間（市内において乗車又は降車する場合に限る。）において受けることができる。

2 対象者は、運賃の助成を受けようとするときは、阪急バス降車時に所定の運賃の半

額（10円未満の端数が生じた場合は、四捨五入により算出した額とする。）を支払うものとする。

3 助成額は、所定の運賃から前項の支払額を差し引いた額とする。

（平20.4.1・全改，平26.4.1・一部改正）

（割引証）

第5条 市が発行する高齢者バス運賃割引証（以下「割引証」という。）の有効期間は、交付した日から次の基準日の前日までとする。

2 前項の基準日は、基準年度（平成26年度から起算して5年度又は5の倍数の年度を経過した毎の年度をいう。）の4月1日とする。

（平20.4.1・全改，平26.4.1・一部改正）

（譲渡等の禁止）

第6条 割引証の交付を受けた者は、これを他人に譲渡し、貸与し、又は転売してはならない。

（平20.4.1・全改）

（再発行）

第7条 割引証を再発行したときは、割引証の実費相当額を徴収する。

（平26.4.1・追加）

（割引証の返還）

第8条 割引証の交付を受けた者が、次の各号のいずれかに該当するときは、速やかに割引証を返還しなければならない。

(1) 第3条に規定する対象者でなくなつたとき。

(2) その割引証が不要になつたとき。

（平20.4.1・全改，平26.4.1・旧第7条繰下・一部改正）

（補則）

第9条 この要綱の施行に関し必要な事項は、市長が別に定める。

（平20.4.1・旧第9条繰上，平26.4.1・旧第8条繰下）

附 則

この要綱は、昭和62年1月16日から施行する。

附 則

この要綱は、平成4年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成15年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成16年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成20年4月1日から施行する。

附 則

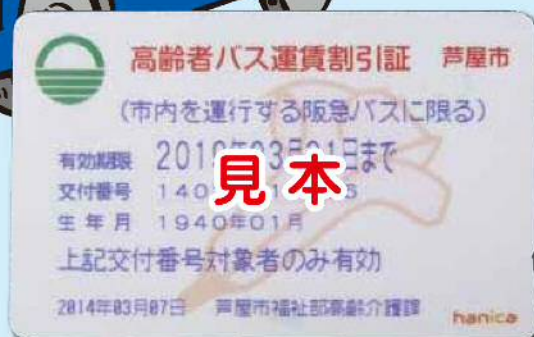
この要綱は、平成24年7月9日から施行する。

附 則

この要綱は、平成26年4月1日から施行する。

70歳以上の方へ

# 高齢者バス運賃割引証 ガイドブック



- 対象となる方 芦屋市に住所を有する満70歳以上の方
- ご利用範囲 阪急バスが芦屋市内において発着する運転系統の全区間  
(乗車または降車が芦屋市内に限る)
- 有効期限 平成31年(2019年)3月31日
- 利用者負担額 乗車運賃の半額(10円未満は切上げ)  
例) 220円の場合、利用者負担は110円

芦屋市福祉部 高齢介護課

## 高齢者バス I Cカード利用者に関する調査報告書

---

平成 28 年 11 月

発 行 芦屋市

〒659-8501 芦屋市精道町 7 番 6 号

TEL : 0797-31-2121 FAX : 0797-38-2160

E-MAIL : koureikaigo@city.ashiya.lg.jp

編 集 芦屋市福祉部高齢介護課

データ分析 日本福祉大学